

ボツワナ通信 NO.3

初試合

私が赴任して初めての試合が行われました。今回は、4つのクラブから102人の生徒が参加し、畳の上では熱戦が繰り広げられました。生徒の戦いぶりは一人一人が今の自分の持っている物の全てを出し切る良い物でした。

しかし、今まで運営側の立場に立って考える事はほとんど無かったのですが、今回、試合運営の難しさを感じました。今回は、ボツワナ流に任せ見守っていたという事もありますが、何もできない自分に悔しい思いでした。組み合わせもその日に決められ、時間短縮のため試合時間は1分、選手本人も訳が分からず試合が始まり終る。様々な準備不足が重なって試合が始まったのは予定時刻から2時間遅れでした。このやり方には改善の余地がたくさんあると思いました。



新聞デビュー

大会から3日後、驚いた事に新聞の裏一面に試合の様子を掲載していただきました。その中に、日本から来た若いコーチが良い選手の発掘をしていると紹介してありました。縁の下の力持ちに徹する協力隊ですが、私の存在以上に柔道の知名度が上がる事が嬉しく思いました。



ほんの少しの貢献

大会前日は、スタジアムに収納してある畳約50枚を運営担当クラブのコーチと2人でトラッ

クに積み30分程離れた会場まで運び、会場の設営の手伝いをしました。全てを終えた後は2人で達成感を分かち合いました。

当日は、審判を任せられました。ルールが頻繁に変わる中、IJFの最新ルールを適応していました。これに関しても日本に少年規定があるように検討する必要もあるのかなと思いました。



足元の変化

嬉しい出来事を一つ紹介します。道場に行ったら履物が揃えられていたのです。赴任当初、履物は乱雑に散らかっていましたが、私が何も言わずに揃えているのを真似て生徒が気付いて揃えてくれるようになったのです。また、裸足で平気で外を走り回り、その足で道場に入って来るから道場は埃まみれになっていましたが、休憩や外に出る時も履物を履いて出て行くようになりました。

教え合う関係

前回の2号で柔道着の着方を徹底して教えていると書きましたが、ある日学校に行ったら帯の結び方を生徒同士で教え合っていました。赴任してから帯の結び方だけはしつこく直させていて、今では、「どうだ！俺の帯正しいだろ？」と言わんばかりに



見せびらかしてきます。‘柔道着は正しくかっこよく着よう！’という小さい事だけれど少しずつ浸透してきているのを感じる事ができた光景でした。

初遠征

南アフリカへ初の柔道遠征をしました。JICAの厳しい任国外渡航申請を通るのには様々な段階を踏み、滞在先や移動経路を加味されて、可否の決断をくだされます。私事目的旅行では、陸路での移動は許されないのですが、同僚と選手で車での長距離移動をしました。車の窓からは麒麟をはじめ様々な動物を見ながらの楽しいドライブができました。



また、試合会場は、渡航を許されないヨハネスブルク。ドライバーの配慮で安全な場所にしか行かなかった事もあり、噂で聞いた治安の悪さを感じず、安全な旅をすることができました。何事も自分の目で見て確かめないと正確な事は分からないと思いました。

南アフリカでの出会い

会場では南アフリカ柔道連盟の会長をはじめ、幹部の方々とお会いし、様々なお話ができた有意義なものでした。年明けに柔道教室を開く約束をして分かれました。実現する事を信じています。

審判が不足しているので、2日間全試合の審判を任せられました。疲労しましたし、生徒の試合を見る事もできませんでしたが、外国人と審判を協力しながらできたことは貴重な経験となりました。アフリカ最大の商業都市、多様な人種が入り交じって生活し、大きな規模を持つ国だけあり、選手人口もレベルもボツワナに比較すると上をいっているのは否めませんでしたが、一つだけボツワナが自信を持って言える事は礼法の美しさでした。これには誇りを持ってましたし、私のやっていることは間違っていないと確信できました。



連盟との接触

ボツワナ柔道連盟の会議に参加し、今月に入りようやく連盟の会長に会う事ができました。私

の活動は始まっているのですが、会長は大変忙しいようで、私の受け入れ準備も無ければ、直接配属先との接触も2ヶ月間無く、不安な日常を過ごしていました。改めて顔を会わせて連盟の一員である事を実感しました。とても小さい組織なのですが、連盟が抱える問題は根が深く、私の力では解決する事は困難だと思います。しかし、柔道をしたいと言ってくれる目の前の生徒、選手には全くの無関係であるので、これからも彼等に全力を注いでいこうと思っています。

ボツワナの治安

数年前までボツワナは、夜でも1人で出歩ける程治安が安定している国でしたが、昨今では治安が悪化傾向にあり、日が暮れたら一人歩きはしないように警告が出ています。アフリカの中では、比較的治安は良いと言っても外国人は目立ちますし、お金を持っている印象なので、強盗やひったくりの標的にされます。在留邦人の中にも泥棒やスリ等の事件に巻き込まれた人も少なく、日本に比べると危機管理を高めて生活していかなければなりません。安全第一。

2013年 9月30日 青年海外協力隊 ボツワナ 柔道隊員 井坪 圭佑